

広報たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②0611 [代表]



園児が元気に「はだか体操」

本格的な夏を迎え、いま高森保育園(杉田紀久子園長、150人)は、はだか体操で子供たちの体力づくりを行っています。登園後の自由遊びが終わると、全園児がはだかになって中庭に集まり、レコードのリズムに合わせて手足を伸ばしたり曲げたり、どの子とも元気いっぱいです。はだかの体操が始まってから泣き虫や弱虫もすっかり姿を消しました。

第216号
昭和52年
8月1日

おもな内容

- 私たちの町役場(役場職員の事務分掌)(2~3)
- 急増する成人病・(昨年の死亡統計).....(4)
- みんなの施設「町民センター」.....(5)
- 婦人会が「町政を聞く会」ひらく.....(6)
- 高森の歴史散歩・郷土の博物誌.....(7)
- みんなの広場・解放の力.....(9)
- 町民文芸・おめでたおくやみ.....(10)

9月4日	8月28日	8月21日	8月14日
高森平田医院	南阿藤医院	南阿藤医院	高森本田医院
②0216	⑦0019	⑦0020	②0016

日曜
在宅
医

診療は午前
9時から午後
5時まで

人口

— 6月30日現在 —

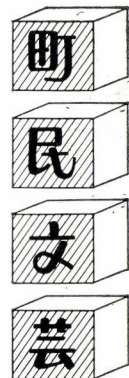
9,740人	男... 4,734人	女... 5,006人
世帯数.....	2,635	
転入 28	出生 11	
転出 33	死亡 5	

肥後狂句

足 青春の無ア車椅子
打ち冠り 涙は腹で流す奴
強 さ 何ノの水垢離(みずごり) 祈願かな
さアどうぞ 浮動票まで一人占め
く 田楽芋も食べ加減
比島で受けた足の傷

雨上り山紫陽花の道涼し
墓の蝶霊ある如く舞ひ立ちぬ
かなかなに今日も暮れゆく丘に佇ち
草苺ふくんで見たき程に熟れ
墨磨って丁寧書く新茶古茶
老の手の震へる昼餉冷奴
打水の程に夕立路地濡らす
向ひ家に気を配りつつ水を打つ
夏暖簾遺句の染まりておりしかな
草刈れば姫百合一つ又一つ
父の日や雀はエサを手に運び
鳴滝の山より落ちる滝は霧
そこらじゅう水撒き散らし裸の子
打水をして来客を待つ夕
合歓の花眠りて今日も暮れにけり
岩肌を伝ひて落ちる清水掬む
蠅叩きつつ父の事母のこと
宿願の野大根の種子少し取り

俳句



野尻 里女
野尻さだむ
瀬井てる女
瀬井せん女
草村 鶴代
熊谷起代女
熊谷 つ子
馬原その女
甲斐 菊江
藤井秋雪女
福間 宮女
熊谷 紫雲
熊谷 紫雲
江良あや女
草村あつ代
野尻 誓道
馬原 岳人

おめでた おくやみ

出 生		S52. 6.16～7.15 受 付			
(住所)	(保護者)	(出生児)	(性別)	(生年月日)	
旭 通	小原 守	康 弘	男	52. 6. 7	
上 在	林 定男	志 保	女	52. 6.14	
冬 野	宇藤 文三	貴 夫	男	52. 6.12	
旭 通	前田 史生	世史乃	女	52. 6.17	
昭 和	大良 義彦	恵 美	女	52. 6.15	
上 在	上村 秀幸	紘 亮	男	52. 6.24	
中 園	住吉 只二	修 司	男	52. 6.21	
冬 野	岩下 雅文	修 信	男	52. 6.21	
津 留	林 今朝一	利 信	男	52. 6.25	
永野原	工藤 西男	和 男	女	52. 6.17	
下 切	工藤 隆	寿 美	女	52. 7.11	
矢津田	二子石一人	真 吾	男	52. 6.29	

死 亡	(遺 族)			(続柄)	(死亡者)	(年 齢)	(死 年 月 日)
(住所)							(亡 日)
西 丁	宇藤	朋喜	母	宇藤ツヤヲ	85	52.6.21	
東中原	高倉	清子	夫	高倉 光	73	52.7.2	
天 神	三井	治男	長女	三井 里香	1	52.7.4	
上 在	後藤	今朝廣	5男	後藤 忠昭	21	52.7.4	
横 町	松尾	勝熊	妻	松尾チヨカ	79	52.7.12	
永野原	工藤	西男	妻	工藤ハルエ	23	52.6.17	
芹 口	佐藤	次春	妻	佐藤ナミエ	58	52.6.19	
菅 山	富永	栄一	4女	富永二美子	0	52.6.28	
永野原	吉川	実	養母	吉川ミヨシ	77	52.7.3	
菅 山	富永	譲	祖母	富永チヨシ	92	52.7.3	
尾 下	小林	ヲソエ	夫	小林 護	70	52.7.11	
津 留	江崎	ヨシエ	夫	江崎松太郎	66	52.7.15	
河 原	田上	一二三	長男	田上 浩和	17	52.7.9	

強 さ 女子だてらのヨット旅
「 さアどうぞ 夜ア墓原ギメで無ア
降り込まれ 待ちくたびれた刺身皿
打ち冠り 高ア傘代だったね
降り込まれ 忘れられとる道しるべ
さアどうぞ 有るしこ飲んで足らん酒
さアどうぞ 玄関で茶の出せませうか
さアどうぞ さぞう眼鏡の重からう

(二)(寄)(付)
ありがとうございました

次の方々から心温かいご寄付をいただきました。心から厚くお礼申し上げます。
△町社協分▽

高森 横町の村上智恵子さんから(夫、勝志さん・45歳死去)
△高森 横町の長山吉彦さんから(母、千代さん・84歳死去)
△色見 西丁の宇藤朋喜さんから(母、ナミエさん・58歳死去)
△永野原の工藤西男さんから(妻、ハルエさん・23歳死去)
△高森 横町の長山吉彦さんから(母、千代さん・84歳死去)
△色見 西丁の宇藤朋喜さんから

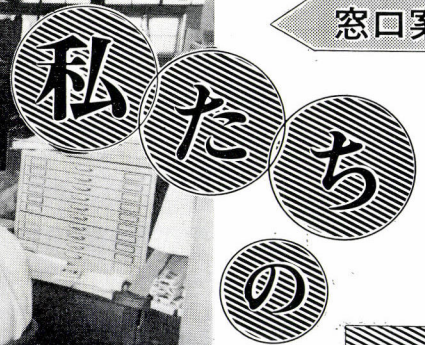
林田 一声
林 不忘
田上黙公子
林田 瑤子

(母、ツヤヲさん・85歳死去)
▽尾下の小林ヲソエさんから(夫、護さん・70歳死去)

△その他▽
△老人クラブ「明寿会」は、大宇野原の吉川実さんから香典返しをいただきました。
△上在老人クラブは、上在の後藤忠昭さんから香典返しをいただきました。
△矢津田の本田三学さんは、老人ホーム「湯の里」へ梅干一樽を寄贈されました。

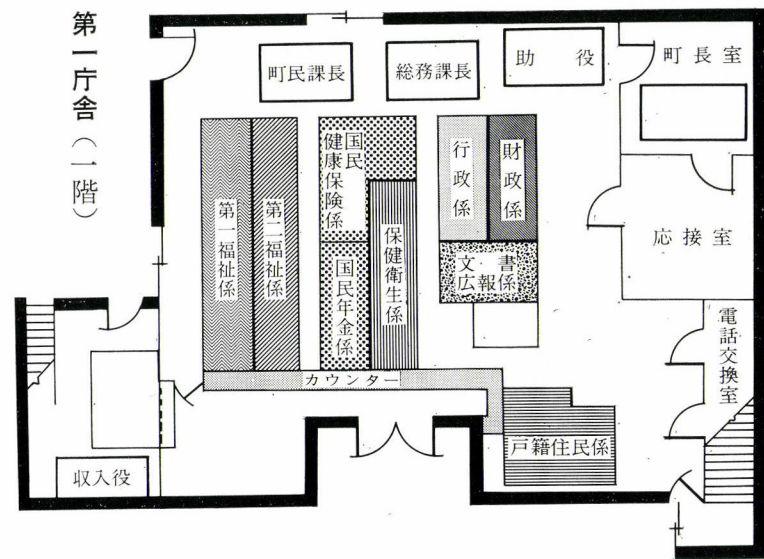
▽高森上在の大野末久さんは、老人ホーム「湯の里」へタオル百本を寄贈されました。

窓口案内



町役場

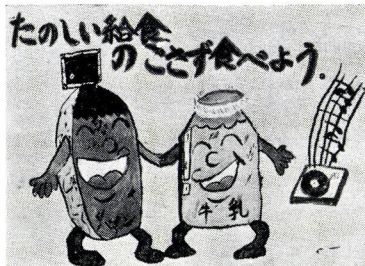
一部機構改革を行いました。
事務の効率化をめざし、従来の福祉係は「福祉第一係」「福祉第二係」の二係制になりました。そこで今月は、各係の配置図と職員の事務分掌を紹介しましょう。



役場職員の事務分掌

町長	岩下 八束	収入役	内田 秀憲	助役	岩下 八束	総務課長	本多 典生	行政係長	宮地 悦也	財政係長	谷川 元清	文書広報係長	岩下 弘三	戸籍住民係長	合志 盛隆	町民課長	小嶋 猛
収入役	内田 秀憲	収入係	内田 秀憲	収入係	内田 秀憲	総務係	宮地 悦也	行政係	宮地 悦也	財政係	谷川 元清	文書広報係	岩下 弘三	戸籍住民係	合志 盛隆	町民係	小嶋 猛
収入係	内田 秀憲	収入係	内田 秀憲	収入係	内田 秀憲	総務係	宮地 悦也	行政係	宮地 悦也	財政係	谷川 元清	文書広報係	岩下 弘三	戸籍住民係	合志 盛隆	町民係	小嶋 猛
収入係	内田 秀憲	収入係	内田 秀憲	収入係	内田 秀憲	総務係	宮地 悦也	行政係	宮地 悦也	財政係	谷川 元清	文書広報係	岩下 弘三	戸籍住民係	合志 盛隆	町民係	小嶋 猛
収入係	内田 秀憲	収入係	内田 秀憲	収入係	内田 秀憲	総務係	宮地 悦也	行政係	宮地 悦也	財政係	谷川 元清	文書広報係	岩下 弘三	戸籍住民係	合志 盛隆	町民係	小嶋 猛

みんなの広場



「ポスター」
高森小 4年 津留 優 祐

高森伊予守余話

上色見 本田 耕 亮

高森城主、伊予守の戦死の場所は清栄山麓に広がる岳陵地帯の通称、黒岩峠といわれる草原一帯とされている。

戦い敗れた伊予守が搦め手(裏門)から險阻な外輪山の隠道を裏道伝いにここまで逃れてきたのは二十数キロ離れた豊後竹田の志賀氏を頼るべく豊後街道に面した黒岩峠のこの道を選んだためであろう。

しかし彼がたどり着いたときには、すでに勝ち誇った島津軍が先回りして待ち受けていたのである。今、こんもりと繁る杉林の一角に苔蒸した伊予守の塚石が約四百年の星霜を経て静かに眠っている。

「ゴミ出し」でお願い

高森町外三か村
清掃組合職員

私たちがゴミ収集に回って、うれしく感じることはありません。それは雨の日には、決まって出されたゴミにビニールなどの覆をかけてある隣り組があるということです。ゴミ焼却の過程で一番困るのは不燃物と燃焼物が混入している

解放の力

狭山事件で今日も無実を叫び続けている部落出身の石川一雄さんの幼年時代から青年時代にかけての生いたちはどうだったのでしょうか。

彼は五年生のときから農家に住み込みで子守り奉公に出たり、靴屋に奉行に出たりした。六年生になると、農家へ住み込んで働いた。十五歳で漬物屋へ替わる。朝は四時起床、夜は十一時ごろまで働かされた。十六歳から十八歳ごろまでは家に戻って土方仕事、農家の日雇い、飯場の住み込みなどをやった。野球の好きな彼は、野球道具を買い、「菅四ジャイアンツ」というチームをつくったこともある。

石川君の生いたち

高森町同和推進教員の会

昭和三十八年、石田養豚を二月に辞めた彼は、兄とともにトビ職の手伝いをしていた。そして、その年の五月二十三日の早朝、別件で逮捕されたのである。

七、八歳のころから、小学生の兄と開墾に専念、四年生になると父と日雇い労働に出かけた。水汲み、たきぎ拾い、開墾、賃仕事というように、生活のための仕事に追われ、ほとんど学校に行けなかった。

(つづく)

成人病急増する

脳卒中が依然トップ

健康管理に定期検診を

町ではこのほど昨年一年間の死亡統計をまとめました。この統計は、毎年の死亡数や死亡原因を調べ、町民の保健活動に役立てているものです。一昨年の死亡者三十五人に比べ、昨年の死亡者は四十三人と、かなりの増加が目立ちます。

昨年の死亡統計まとめ

町の死亡者は統計上はどうなっているのでしょうか。

どんだのびる日本の平均寿命、七十七歳と、世界の長寿国の仲間入りをはたしました。ところが本町では、五十一一年中になくなった人は四十三人、その前年が三十五人、その前々年の四十九年が四十二人でしたから減少と増加のくりかえしが実態といえます。

統計によると、町民の死亡原因の最高は心臓疾患です。心筋梗塞（こうそく）や心不全、それに心臓マヒで十六人が他界しました。次に多いのが脳出血。いわゆる高血圧がその主な原因といわれるものの。昨年、一昨年とも同数の七人がなくなっています。いま町民の五人のうち一人は高血圧だといわれています。

次に第三位を占めているのがガン。いまだではいちばん恐ろしい病

8月末からガン検診始まる

昨年のガン検診には七百五十一人（胃二百三十五人、婦人五百十六人）が受診。そのうち要精密者が三十人も発見され、ガンや胃かのような早期発見、早期治療に役立ちました。そこで、町ではことしも県対ガン協会の協力を得て、婦人検診および胃検診を次の日程で行うことにしています。場所、時間については近く回覧でお知らせしますので、ご希望の方はお申し込みください。

▼婦人検診 八月二十九日から九月二日まで（五日間）

▼胃検診 九月十九日から二十二日まで（四日間）

初盆の接待はお茶だけに！

お参りするときの包み銭は、ロソク、線香代という本来の趣旨にかえり見えをはらないように。また初盆の接待はお茶だけにしましょう。

△社会教育委員会△



高森の歴史散歩

□13

本田 秀行

野尻手永の北方三家

阿蘇家没落の後、その家臣たちは四散、由縁のある土地に定着して農業を営みました。しかし野尻手永の北部一帯は広漠たる原野で、江戸時代初期には開墾もほとんど進んでいなかったようです。黒岩の森氏、市野尾の白石氏、吉尾野、峰の宿の二子石氏は同族相助けて、この火山灰地そして高冷地に取り組み、りっぱな農村を形成したのでした。そして、これらの村々ほとんど同族のみで維持繁栄してきたのです。

高冷地開墾に取り組む

市野尾の白石家については、二百年前の先祖付に白石清兵衛があり、「私の先祖白石伯耆（はうき）は阿蘇大宮司のご家来で、河原村御百姓数代、私の親源七から地侍になった」と記されています。しかし、市野尾に現存する先祖塔には「元祖惟俊公、阿蘇公の御一門にて天正年中当地

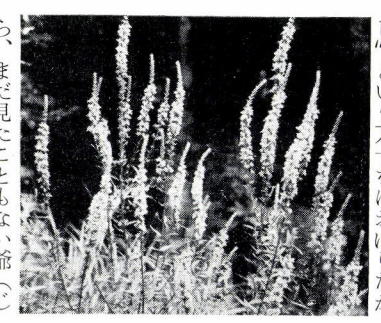
て天正年中阿蘇殿を頼みまかり越した。阿蘇家落去の際、黒岩村に居住任り、御百姓数代、私父和太右衛門が明和年中地侍となった」（弥三右衛門家）。他の二家も同

祖と記してあります。そして弥三右衛門家は、豊後岡原村に御救免開き老町老反を拝領していること記してあることから、よほど広範囲に開墾に努力していることがわかります。

以上、三点ともこの地域で最も立地条件の悪いところを数代百余年に亘って経営し、よい耕地に仕上げたのです。早朝から深夜まで、正に寝食を忘れて財を蓄積

郷土の博物誌

ミソハギ



やがてお盆を迎える。平素は過疎の波に洗われて沈滞しがちな故郷も、ちょうど学校の夏休みと重なり、学生たちはもちろん、墓参りに訪れる遠方の親類や、また都会の就職先から休暇で帰る若者たちの華やいた姿や、はざんだ声で急ににぎやかになる。しばらくの間、楽しい活気に満ちたふんい気に溢れることだろう。

七日は墓掃除。一年間たまった落葉をかき、草を取り、新しい竹のカップに野の花が飾られると、寂しい静寂境も見違えるほど明るくなる。私の子供のころは「墓参り」といっ

て、この墓掃除のあと、酒や重箱を持ち寄って先祖をしのび、故人の思い出などを語り合うならわしがあった。私たちは酒を汲み交わす大人のそばで、ふくらかという万十をはおばりながら、まだ見たこともない爺（じい）婆や遠い先祖のことなどを聞き覚えたり、その血を受け継いだ自分を改めて意識したもの

さて、話は脇道にそれたが、墓に捧げられる野の花はすべて盆花と呼ばれていたもので、昔はいちいち名前を覚えなかったが、その中で特に私の好きなのがこのミソハギであった。この花は池や沼や無田と呼ばれる湿地に咲く紫紅色の花である。野尻では時々「おやつ、こんなところに沼があったかな」と思いがけないところで池や沼を発見することがあるが、このように忘れられたように寂しく、わびしい水のはとりも、まるでニンフのようにこのミソハギの花が咲いていると、あたりがいかに華やいで、あげかけた腰をもう一度下し、ゆっくりタバコを染みたくさえる（ミソハギ科）

高森町文化財保護委員 佐藤 武之

みんなの施設「町民センター」

月曜除きいつも開館

研修・レクリーにご利用を

町が五十一年度事業として、高森昭和の中川原団地に建設した「町民センター」は、六月から一般に開放されています。

この施設は老人、婦人、青年など、すべての人が教育の向上やレクリエーションの場として気軽に利用できるように建設したもので

で、施設内部は老人室（会議室）をはじめ、調理実習室、青年婦人室、図書室、視聴覚室、浴室などがあり、外の広場にはゲートボールコート二面も完備されています。

同センターは毎週月曜日が休館のほかに、毎日午前八時半から午後五時までを開館。特別な理由があれば管理者（町長）の許可を受けて、午後十時まで利用することもできます。

利用人員	利 用 料 金		浴 場
	施 設 8.30～17.00	17.00～22.00	
10 人 まで	100円	200円	500円
11人～20人	200円	400円	1,000円
21人～30人	300円	600円	1,500円
31人～40人	400円	800円	2,000円
41人～50人	500円	1,000円	2,500円
51人～100人	1,000円	2,000円	3,000円
101人～150人	1,500円	3,000円	4,000円

ゲートボールコートだけの使用は無料。監視人の許可を受けて自由に使用ください。ところで現在、図書室には蔵書がありま

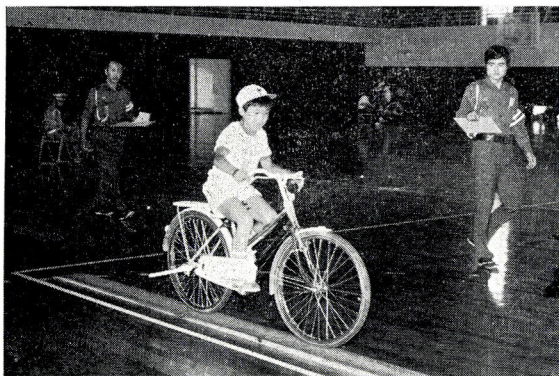
ん。町では将来、各分野の図書を取りそろえる計画ですが、さしあたっては、みなさんに寄付を呼びかけているところです。みなさんのご家庭で、参考書や辞典、単行本など不要な書物がありま

同センターはみなさんの強い要望で建てられたみなさんのための施設です。利用にあたっては、あとの利用者のことを考え、来たときより美しくの気持ちで後始末に十分気を配っていただきたいと思っています。

②1792。施設の管理、利用受け付けは管財課が担当しています。

河原小チームが3位

阿蘇南部地区 子供自転車大会



実技テストを受ける河原小チーム

阿蘇南部地区の第五回子供自転車大会が七月二日長陽村の東海大体育館で開かれ、本町から出場した河原小が三位に入賞しました。

森著とタイアップして開いたもので、大会には河原、白水、久木野、長陽、長陽西部の五つの小学校から代表各五人、合わせて二十五人の選手が出場しました。

昨年優勝の白水小から優勝トラウン」で取り扱われています。

詩画集「阿蘇のうた」を出版

町出身の島田画伯

東京で活躍している本町出身の画家、島田興司さん（四〇）が、このほど詩画集「阿蘇のうた」を出版しました。

島田さんが昨年高森で入院生活を送った際に墨で描いた阿蘇のスケッチ画十四枚と、阿蘇に関した詩、短歌、俳句が三十五ページにわたって収められています。一部の定価は五百円。上町の吉井履物店および旭通りのレストラン「ク

「町政を聞く会」開く

高森校区婦人会 身近かな要望が続出



高森校区婦人会の町政を聞く会

高森校区婦人会は町政に対する婦人の関心を高めようと、六月二十九日町民センターで町長ら招いて「町政を聞く会」を開きました。山村会長ほか各区の支部役員二十人が集まり、役場から岩下町長と小嶋町民課長が出席しました。

これに対して岩下町長らは「河川災害についてはバイパス工事などによる影響が大きいので、国県による全面復旧も働きかけたい。水問題は鉄建公団のポンプアップで飲料水、かんがい用水とも順調に供給されているが、町は新たな水資源を確保するため、専門家を招いて調査しているところだ。町営駐車場の確保は、将来高森警察署が色見寄りに新庁舎を建てる計画なので、跡地を交渉してみた。町営グラウンドの建設は一部を予算化しているが、用地の選定で難行している。そのほかの要望についても関係各課と打合わせて対策を講じたい。しかし乏しい財源に加え、地域住民のまとまりもいので全部の実現は難しい。できるだけ希望にそうよう努力したい」と話していました。

山村会長のあいさつのあと、岩下町長が町政の概況について話があり、このあと質疑に入りました。婦人側から環境美化や建設工事など身近かなことについて活発な質問がでました。



優勝した後藤建設(上)と下町ドンキーズ(下)

ソフトボール

早起きで後藤建設が優勝

ナイターは下町ドンキーズ

高森中・高岡グラウンドで行われた早起きソフトボール大会には、町内の強豪三十二チームが参加。五月六日から六月十四日にかけて、四六日のリーグ戦で行われ、これに勝った上位二チーム、計八チームが決勝トーナメントに進みました。

決勝戦はベテランぞろいの電高森と投手力を誇る後藤建設の試合となり、初回のホームランによる一点を守り抜いた後藤建設が優勝しました。また七月四日から二十日まで、高森高校グラウンドで行われたナイターソフトボール大会は三十三チームが参加。トーナメント方式で各チームが実力をぶつけ合った結果、若手を起用した下町ドンキーズが優勝しました。

80.6%の投票率

参議院議員選挙

さる七月十日に行われた参議院議員通常選挙が無事終わりました。

高森町の投票率は保革伯仲の情勢が町民の関心呼び、八〇・六割と、参議院の選挙ではいま

でにない高い投票率を示しました。しかし、この数字も郡平均の八三・四割に及ばず、郡内十二か町村の中で十一番目の投票結果でした。

投票所	投票率
①集落センター	83.38%
②菅山集会所	80.54
③芹口大師堂	78.30
④永野原消防詰所	71.13
⑤中村集会所	78.51
⑥草北集会所	83.61
⑦上在集会所	80.56
⑧高森町役場	84.25
⑨南公民館	84.86
⑩色見小学校	81.89
⑪上色見小学校	77.80
⑫野尻小学校	73.57
⑬永野公民館	84.62
⑭尾下小学校	76.56
⑮鶴林豊成宅	60.87
⑯河原小学	73.36
⑰本末久宅	83.82
計	80.65